

細則様式第4号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	福士 泰世		
入学年度	平成 27 年度	学籍番号	15GG606
領域	健康支援科学	分野	障害保健学
審査委員	主査	中村 敏也	
	副査	小山内 隆生	
	副査	三浦 富智	
	副査	井瀧千恵子	

論文題目：酸化ストレスマーカー8-hydroxy-2'-deoxyguanosine によるストレス評価及び酸化ストレス状態に対するトマトジュース投与の有用性に関する検討

審査結果要旨：本研究では、第一に運動負荷前後における被験者の血清・唾液・尿検体における酸化ストレスマーカー8-OHdG の変化を測定した。その結果、尿検体がもっとも酸化ストレス状態を反映していることが示され、尿中 8-OHdG の酸化ストレスマーカーとしての有用性が示された。第二に、福島原発事故後に仮設住宅に居住し、日常的にストレス状態に晒らされている住民の尿中 8-OHdG の経時的変化を評価したところ、尿中 8-OHdG は調査初年度に比べ、2年目及び3年目に有意に増加した。このことは、仮設住宅での生活期間の長さが心身のストレスレベルに影響している可能性を示唆した。第三にストレス軽減に対するアプローチとして、抗酸化物質であるカロテノイドを含有するトマトジュースに注目し、放射線治療を受けた乳がん患者の治療に伴う有害事象への長期間のトマトジュース飲用の効果について検討した。継続的にトマトジュースを摂取することで血中リコピン濃度は上昇し、リコピンなどの血中カロテノイド濃度と尿中 8-OHdG の間に負の相関が認められた。また、これに伴い被照射組織の炎症も軽減されることが示された。学位審査会では上記研究テーマについて系統的、かつ過不足なく記述できているか、新たな知見が含まれているか審査した結果、適切と認められた。また、研究内容に関する質疑に対する応答も的確であった。以上の結果から、本研究内容は博士論文に十分な内容を有し、申請者は博士に相応しい水準にあるものと判定した。

最終試験 平成 30 年 2 月 1 日

試験の結果は 合格 ・ 不合格 と判定する。